

自然研 公開講演会「南極—地球観測のフロンティア—」

南極から探る地球の未来

「(多摩区・3大学連携協議会後援)が7月26日、生田キャンパスで開かれ、佐藤暢所員(経営学部准教授)と佐藤准教授(地質学)と国立極地研究所地圏研究グループ准教授で第56次南極地域観測隊副隊長(兼越冬隊長)の三浦英樹氏が、南極を研究する意義を語った。1面に写真。

佐藤准教授は南極大陸の成立を解説。南半球の超大陸「ゴンドワナ」が1億5000万年ごろから分裂をはじめ、南米、アフリカ、インド、豪州の各大陸が順次北上して南極大陸が孤立するまでをアニメーションで紹介し、参加者を嘆息させた。

佐藤准教授が観測するのは、猛烈な暴風雨と高波が襲う南緯40〜60度の「南極環流」のただ中。南極大陸が海に囲まれて以降、赤道付近から南下する地球温暖化の影響予測に

巨大な氷床が融解すると、海面の上昇や海洋熱塩循環の変動で地球規模の環境変化が起こる。三浦氏は、南極氷床の過去の変動の調査が将来の地球温暖化の影響予測に

『放射能』上映と討論会

社会研 公開研究会

放射能の存在と人間の生活を迫る映画の上映と討論会が7月12日、神田キャンパスで開かれた。

監督の短編『放射能』。福島第1原発事故で避難を余儀なくされた双葉町の人々の3年間の生活を追うドキュメンタリー『フタバから遠くはなれて』の2部作の『放射能』(番外編)で、一般ではほとんど上映されていない。映画上映のあと船橋監督と慶應義塾大の渡名喜庸哲専任講師(フランス哲学)との討論が展開された。



討論する監督の船橋氏(左)と渡名喜氏

「社会科学研究所「グループ研究」公開研究会」上映されたのは船橋淳監督の短編『放射能』。福島第1原発事故で避難を余儀なくされた双葉町の人々の3年間の生活を追うドキュメンタリー『フタバから遠くはなれて』の2部作の『放射能』(番外編)で、一般ではほとんど上映されていない。映画上映のあと船橋監督と慶應義塾大の渡名喜庸哲専任講師(フランス哲学)との討論が展開された。

「社会科学研究所「グループ研究」公開研究会」上映されたのは船橋淳監督の短編『放射能』。福島第1原発事故で避難を余儀なくされた双葉町の人々の3年間の生活を追うドキュメンタリー『フタバから遠くはなれて』の2部作の『放射能』(番外編)で、一般ではほとんど上映されていない。映画上映のあと船橋監督と慶應義塾大の渡名喜庸哲専任講師(フランス哲学)との討論が展開された。

「2014年度高校教員対象研修プログラム」が実施されているこのプログラムでは、文学部の教員が高校教員向けの講義を展開。最新の研究成果を伝えるとともに、大学教

7月29、30の両日、生田キャンパスで文学部の「2014年度高校教員対象研修プログラム」が実施されているこのプログラムでは、文学部の教員が高校教員向けの講義を展開。最新の研究成果を伝えるとともに、大学教

14年度受講生募集
KSアカデミーの2014年度の受講生を募集します。
◆開講期間 9月30日(火)〜2015年2月19日(木) ◆募集人員 5人 ◆開講場所 専修大学サテライトキャンパス
◆申込期間 9月1日(月)〜10日(水) 必着
※詳細はパンフレットでご確認ください。8月28日(麻生区役所)、9月2日(川崎市産業振興会館)に講座説明会を開催します(各日とも19時〜20時30分)。

人文研 公開講演会

「作品」の背景を解説



ミシシッピ川大洪水の様子を伝える映像を示しながら講演する佐久間講師

人文科学研究所(所長 伊吹克己文学部教授)の公開講演会が生田キャンパスで、6月27日と7月26日に開催され、合わせて約160人が来場。映画や音楽を流しながら作品の背景や解説をした。

【第1回公開講演会】
荒このみ非常勤講師(東京外国語大学名誉教授)と佐久間由梨経営学部講師が講師を務め、20世紀前半のアメリカ文学が取り上げられた。荒氏は映画『風と共に去りぬ』の原作(1936年出版)を題材に、南北戦争(1861〜65)前後のアメリカ社会の変化を解説した。

佐久間講師は1997年に発生したミシシッピ川大洪水の際に生まれた黒人音楽や詩を紹介。当時流行したベッシー・シムスの『渦巻く洪水のブルース』など、ブルースの曲を会場に流しながら講演した。

【第2回公開講演会】
米村みゆき文学部准教授と、キム・ジュニアン氏(日本アニメーション学会理事/編集委員長)が、アニメ映画の表現に

ついで講演した。米村准教授は老いや認知症をテーマにしたスペインの長編『しわ』(2011年)を取り上げ、「アニメはあり得ないものを表現する手段として最も優れている」と語った。

また、キム氏はUFOに拉致された当事者へのインタビューを基に制作されたアニメによるドキュメンタリー『拉致経験者たち』(1995年)を取り上げ、制作者の意図などを解説。「作品に描かれた宇宙人は本物ではないが、人々の目に触れたことで実在する存在になる」と話した。

KSアカデミー 成果報告会



自身の体験を伝えた嵯峨氏

大学院経済学研究科特別教育プログラム「KSアカデミー」(川崎・専修)の成果報告会が6月28日、サテライトキャンパスで開催された。ソニー・ビジネス・アカデミー(川崎市・専修大学)と、修了生による事例発表などが行われた。

ソニー・ビジネス・アカデミーは地域や社会の課題解決にビジネスの手法で取り組む事業スタイル。KSアカデミーで講師を務める嵯峨氏は「目標をしっかりと決めて活動すること大切」と話した後、自身の経験に基づくNPO

法人設立の要点を紹介。「法人設立は飛躍の機会」「理事は身内で固めるな」などの15カ条を伝える。「NPO法人とソニー・ビジネスは共通点が多い。参考にしてほしい」と結んだ。

引き続き、KSアカデミー講座説明会が開催され、徳田賢二アカデミー長がKSアカデミーのカリキュラムを説明。「ここで学び、新しいライフスタイルを見つけよう」と呼びかけた。

事例発表では、KSアカデミー1期生の岩田直樹さん、2期生の小倉美奈子さんが、修了後に立ち上げたソニー・ビジネスの活動を紹介。これらまでの成果や今後の取り組みを発表した。

また、7月26日には、大同生命保険株式会社協

育の現場を体験してもらう。今年度は延べ約250人が参加し、倫理、地理、日本史、世界史、国語、英語の計6科目で講義が行われた。

史料展示として「軍事郵便と兵士」(新井勝紘)、「図書展示」(文学部所蔵資料の展示)、Chological Science and Related Disciplines—心理学と関連諸領域におけるビッグデータ—
心理学と密接に関係する諸領域でビッグデータを解析を行っている国内外の研究者による講演と、同センターの研究報告を行う。参加無料。
▽日時 9月6日(土) 14年度受講生募集

公開講座情報

属教員の自著書籍の展示も行われ、参加者の興味を引いた。

博士後期課程・澤幸祐人間科学部教授▽岡田謙介人間科学部准教授▽講演
Michael Kosinski氏(スタンフォード大学)▽リサーチフェロー)▽大久保智哉氏(独立行政法人大学入試センター研究開発部助教)▽竹内文乃氏(独立行政法人国立環境研究所環境健康研究センター研究員)▽使用言語 英語(通訳なし)
▽問い合わせ 研究センター事務局 Email: info@acc.senshu-u.ac.jp

13時15分〜▽場所 神田キャンパス731教室▽研究報告 高橋良幸氏(同センターポスト・ドクター)▽蔵屋鉄平氏専修大学大学院文学研究科
間科学部教授▽岡田謙介人間科学部准教授▽講演
Michael Kosinski氏(スタンフォード大学)▽リサーチフェロー)▽大久保智哉氏(独立行政法人大学入試センター研究開発部助教)▽竹内文乃氏(独立行政法人国立環境研究所環境健康研究センター研究員)▽使用言語 英語(通訳なし)
▽問い合わせ 研究センター事務局 Email: info@acc.senshu-u.ac.jp

14年度受講生募集
KSアカデミーの2014年度の受講生を募集します。
◆開講期間 9月30日(火)〜2015年2月19日(木) ◆募集人員 5人 ◆開講場所 専修大学サテライトキャンパス
◆申込期間 9月1日(月)〜10日(水) 必着
※詳細はパンフレットでご確認ください。8月28日(麻生区役所)、9月2日(川崎市産業振興会館)に講座説明会を開催します(各日とも19時〜20時30分)。

KSアカデミーに関する問い合わせは、専修大学大学院事務課KSソニー・ビジネス・アカデミー係(☎044・922・9384)へ。



吉澤芳樹氏(よしざわ よしき) 名誉教授
7月18日、86歳で死去。
1958年から在職。1998年定年退職。主な担当は経済学史。